

昨年度に引き続き我が町の歴史を紹介するコーナーを掲載します。今年度は大野で活動中の
NPO法人おおの風にご協力いただき、大野地域の歴史を紹介していきます。

記事協力 NPO法人おおの風

(坂史朗記)



大野温泉の京大慰霊碑と
陸軍病院あとについて

美しい大野瀬戸の宮浜海岸には大きな岩が
ごろごろしています。北側の経小屋山には巨岩
が山肌に今にも落ちそうに見えます。
今から、七十年前の昭和二十年九月十七
日の夜、枕崎台風による山津波(土石流)が発
生して、宮浜(昔は四十八坂)の大野陸軍病院
を襲い、建物もろとも患者、医師、看護婦さん
たちと付近の住民一五六名が流されました。
原爆による患者と被害者の調査と医療対策の
ために派遣されていた京都大学の杉山輝繁教
授ほか医学、理学部などの研究班十一名も罹
災しました。

大野陸軍病院の前身は、昭和十三年に建て
られた日本赤十字病院大野療養所(結核療
養所)でした。基町にあった広島陸軍病院が終
戦直前に大野にうつったのです。
宮濱温泉を訪れてみると、米山広場に人間
の復活を象徴するような京大の慰霊七ツメン
トが建てられています。また、近くの洗心園の
一角には、昭和二十年十二月八日に建立され
た「水害死没者」の供養塔とともに、慈母観音
が自然災害の恐ろしさと戦争の悲惨さを静か
に訴えているようにたたずんでいます。

戦時中は、軍の機密
として気象情報は国民
に知らされていませんで
した。気象情報がある確
に住民に伝わっていな
かったことが多くの被災
者を出したものだと思
います。

大野・今昔物語

★ 情報部インフォメーション ★



たのもさんに参加しました

今年のたのもさんは、団体のみなさんにもたのも船を
作って参加していただこうと呼びかけましたが、残念な
がら参加団体はありませんでした。
そこで情報部では提灯にたくさんの
団体名を書き、皆さんの想いを乗せ
た「センター号」を作りました。趣向を凝ら
したたのも船の並ぶ中、センター号も堂々と
出航していきました。



今回のフォトコン テーマは「なかま」

毎年たくさんの方に応募していただき、賑
わいをみせているフォトコンテスト。来春の
センターまつりでも行います。今回のテーマ
は「なかま」。仲間たちとワイワイガヤガヤ、
仲よく楽しく活動している写真をお待ちし
ています。



ネットワーク団体からの

お知らせコーナー

広島友の会 家事家計講習会

- ①10月14日(水) 10:00~12:00 当センター(和室)
 - ②10月29日(木) 10:00~12:00 //
 - ③11月21日(土) 13:30~15:30 //
- いずれも資料代:300円

生涯学習フェスティバル

VOICE 2015

子どもまつり

はつかいち市民文化祭 など

- 11月7日(土)・8日(日)
- 市役所庁舎他

老人クラブ連合会

芸能発表会

- 11月19日(木)
- 10:00~15:30(予定)
- さくらびあ小ホール
- 入場無料

喫茶

8月4日より1階喫茶室に
「Café ハナミズキ」
(社会福祉法人 桜虹会)が
オープンしました。

営業:火・水・金(10:30~16:00)

ご来店をお待ちしています♪



バケットセット
300円
(ドリンク別)

お問い合わせ先 廿日市市民活動センター

廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742

HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

<https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

ネットワーク現在の状況

(平成27年9月末現在)

登録団体 177 団体

市民活動情報紙

さくらdeファミリー

廿日市市民活動センター
平成27年秋号
Vol. 33



「センターまつり2016」 3月6日(日)開催決定!

「センターまつり2016」に向けて、第1回実行
委員会を9月1日に行いました。

各団体の活動発表や交流が深まるよう、一緒にまつ
りを盛り上げましょう!

まつり当日の運営をお手伝い

いただける団体も大募集です!

募集要項は11月上旬にお知
らせします。



前回のステージ発表

避難訓練・ 大掃除を行います

当センターでは、年に2回
消防避難訓練を行っています。
1回目は8月26日に行う予
定でしたが、前日の台風で中
止になりました。2回目は
12月11日(金)に行います。

当日は訓練終了後、年に1度の大掃除を行います。昨
年はたくさんの方に参加いただき、掃除後は団体間での
交流や情報交換で盛り上がっていました。

詳細は後日お知らせします。多くの方々の参加をお
待ちしています。



昨年の様子

施設利用についてのお願い

① 3階団体会議室

これまで一般登録団体も空いていれば3日前から予約が可能でしたが、平成28年4月1日からは、一般登録
団体の利用は出来ないことになりました。

② 敷地内全面禁煙

『市有施設の受動喫煙防止対策に関する指針』(廿日市市)により、当センターも、10月1日から敷地内全
面禁煙(建物・駐車場)となりました。ご理解とご協力をお願いします。

③ 駐車場

利用団体の多い日は、満車になります。枠外駐車される場合は、1階受付に置いてある管理簿への記入をお願い
します。また、混雑が予想される場合は、主催団体で駐車場係をつけるなど、誘導・整理をお願いします。

登録団体交流会(カローリング大会)を開催します

- ◆日時:12月5日(土) 9:00~13:30(交流会含む)
- ◆場所:廿日市小学校体育館
- ◆講師:廿日市市スポーツ推進委員
- ◆申し込み:3名1組、又は1名で申し込み
- ◆参加費:700円(弁当、飲物代他)

※大会終了後、市民活動センターで表彰式、交流会を行います。

詳細は別紙をご覧ください。



年末年始休館日

12月28日(月)

12月29日(火)

1月4日(月)

インターンシップ実習生がやってきました!(9/8~9/14)

協働推進課では、毎年インターンシップ実習生を受け入れています。協働事例集の取材・作成や、市民活動団
体の活動を知ることを通じて、協働で取り組むことの大切さを実感してもらっています。今年度は、広島修道大
学から1名の学生に来てもらいました。



インターンシップ生の國田です!ここで主に行った実習は協働事例集の作成です。事例集では
地域の皆さんが地域のために協働で行っていることを取り上げて、一つの冊子にまとめていま
す。私も一つの団体のインタビューをさせてもらい、それを基に記事を作りました。私は今回
のインターンシップを通じて協働という人と人とのつながりの大切さを学びました。これから
は人と人とのつながりを意識して学生生活を送りたいと思います。



ネットワーク団体紹介

しりあっChaO

番外編「知っていますか？運営協議会」

市民活動センターの管理運営業務を行っている運営協議会は、センター設立前の検討から携わっている16の市民活動団体で構成されています。

当センターは、今年度末設立10年を迎えます。体制づくりが整うまでには、意見がぶつかり、食い違うこともありました。そんな苦勞を乗り越えて、行政と協働で市民が主体となったまちづくりを進めるための方策や運営に関する協議などを行っています。

これまでの経緯

【センター設立まで】

平成12年度 廿日市市コミュニティ推進プラン策定

・策定に係る市民ワーキングにおいて、市民活動支援センターの必要性が議論された。

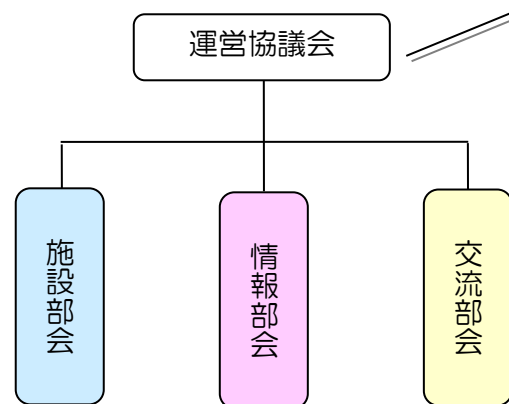
平成16年度 市民活動支援センター設立検討市民ワーキング

平成17年度 市民活動支援センター整備検討部会

【センター設立後】

平成18年度～

・市民活動センター運営協議会が管理運営業務委託を受ける
(市のサポートを受けながら、業務を確立していき、体制を整えてきた)



【運営協議会協議員】

- ・NPO 法人廿日市市障害者福祉協会
- ・NPO 法人ふくし文化塾はつかいち
- ・青少年育成廿日市市民会議
- ・青少年夢プラン実行委員会
- ・はつかいち市民ミュージカル
- ・はつかいちレクリエーション
- ・廿日市子ども会育成連絡協議会
- ・廿日市市公衆衛生推進協議会
- ・廿日市市国際交流協会
- ・廿日市市障害者団体連絡会
- ・廿日市市町内会連合会
- ・廿日市市PTA連合会
- ・廿日市市文化協会
- ・廿日市市老人クラブ連合会
- ・廿日市商工会議所青年部
- ・廿日市地区まちづくり協議会

後藤会長



運営協議会が発足してあつという間の10年間でした。

最初は何もわからないまま、がむしゃらに立ち上げました。一年以上かけて皆で規約を作り、事務局体制も整え、やっと軌道に乗ってきました。これからも皆さんと一緒に増々充実させていきましょう。

重本副会長



平成16年、市民活動支援センター・市民ワーキングから関わってきた。「つどい・まじわる・しりあう」を合言葉に、現在は支援を外し、市民自ら運営できる市民活動センターへと成長し、活動の拠点となった。

市里副会長



センターまつりは、沢山の人でにぎわい、多くの団体の居場所づくりに役立っています。さらにドキドキ感のある場所に！

小田センター長



市民活動センターは、市民活動を活性化させるための拠点として開設されました。開設から10年、試行錯誤を繰り返しながら当センターの運営を行った運営協議会の皆さんの努力の結果が、現在の安定した運営につながっています。今後ともお互い理解しあいながら協力して、更なるセンター機能の充実を図りましょう。

登録団体

施設部会

- ・毎月の部会で施設管理に係る検討
- ・大掃除
- ・消防避難訓練



市民活動センター運営協議会

- ・例会（毎月）
- ・連携事業

情報部会

- ・さくらdeファミリーの発行
- ・デジカメ講習会など
- ・フォトコンテスト



交流部会

- ・センターまつりの企画運営
- 地域交流事業
- ・登録団体交流会
- ・登録団体代表者研修会



夏休み宿題解決工作教室

7月31日、運営協議会とネットワーク登録団体が共催で行いました。参加者41名（廿日市小・佐方小・平良小）の子どもたちが参加し、牛乳パックの帽子作りや、スポーツ推進員指導の健康吹き矢体験、最後に運営協議会のメンバーお手製のカレーを食べましたが、あまりの勢いで、あっという間に完食。他校児童との交流はもちろん、団体との交流も図れた、充実した内容でした。



提案型連携事業の報告

今年度選考された3事業がすべて実施されました。来年度も連携事業の募集を行う予定です。よりよい活動展開の一助としてご活用ください。

●家庭教育力・地域の教育力
向上研修会

日時：6月29日・30日

場所：各学校、市民活動センター

主催：青少年育成廿日市市民会議

連携：廿日市市PTA連合会

参加者数：約20人（研修会）

長崎県諫早市子どもの城から池田館長にお越しいただき、地域で子ども達をサポートしていくことについての講話と研修会を行いました



●くじまの森
ガキ大将プロジェクト「川の学校」

日時：8月22日

場所：玖島川

主催：くじまの森

連携：玖島コミュニティ推進協議会

：佐伯公衆衛生推進協議会

参加者数：延べ50人（うち子ども37人）

水生生物観察や宝探しなど、川遊びを存分に楽しむことができました。



●楽しく子育て「おひさま広場」

日時：9月27日

場所：市民活動センター

主催：広島友の会（宮島方面・西方面）

連携：すこやか家族ひろば「ほっぺ」

：B&C タッチステーション「おひさま」

参加者数：約90人（うち子ども26人）

親子ヨガ、ギニョール作り、早ね早おき4回食のお話、フルーツ演奏など親子連れで楽しんでいただきました。

